盗聴防止機器　スナップフォン

取扱説明書

= 目次 =

- 安全上のご注意 2
- Chapter1：概要 6
- Chapter2：接続方法 7
- Chapter3：クイックユーザガイド 9
- Chapter4：SNAPfone 操作説明 11
- Chapter5：SNAPfone の設定 14
- Chapter6：トラブルシューティング 16
- Chapter7：製品認定など 18
- Chapter8：仕様書 20

安全上のご注意　【必ずお守り下さい】

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

⚠警告

■ 電源プラグや AC アダプターのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグや AC アダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。

■ AC アダプターは根本まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだ AC アダプター、ゆるんだコンセントは使用しないで下さい。

⚠ 警告

電源 / 電源コード

電源は必ず交流100V を使用する。
エアコンの電源など交流200V のものがあります。
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

（電源コード/ プラグが本体脱着式の場合）電源コード/ プラグは、必ず付属のものを使用する。
他の電源コード/ プラグを使用すると、発熱や感電の原因になります。

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

分解禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。

水に注意

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
感電や火災、または故障の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意

本体の上にろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら

電源コード/ プラグがいたんだ場合、または、使用中に異常なにおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源コード

(アース付き電源プラグの場合) アースプラグを確実に取り付ける。
感電のおそれがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

たこ足配線をしない。
コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

設置

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。

不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続
ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがありま

手入れ

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。
本体のパネルや鍵盤が変色/ 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

使用時の注意

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
本体のパネルが変色/ 変質する原因になります。

本体の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

Chapter1：概要

イントロダクション

スナップフォンは電話回線を通じたスナップフォン間の電話の受信、発信、ファックス通信を暗号化し盗聴を防止する商品です。

システム説明

スナップフォン暗号化ユニットは 2 つの基本的な操作モードがあります。

ポイントからポイント：　（Point-to-Point）

- 二つのスナップフォン間で安全な通信をすることができます。

スナップゾーン：

- スナップフォンを接続している複数のユーザ間においては VPN のような安全なゾーンが構築されます。ユーザのリストはシステム管理者により管理され、スナップゾーンのメンバーの電話、ファックスを安全に行うことができます。

最高 50 までの電話番号または 100 までのプレフィックス（番号の前に記号をつけた番号）が VPN リストに登録可能です。

前に記号番号を付ける事で多くのユーザがスナップゾーンに加入できます。

また、スナップフォンには音声用とファックス用の 2 種類があります。商品の化粧箱に製品の区別が記載されておりますのでご確認下さい。

特徴

- POTS インターフェース用の音声・ファックス暗号
- 毎回の通話セッション毎に異なった鍵を使用し、高レベルな暗号化プロセスを実現
- グループの認証用のユーザ鍵
- 盗聴防止に各通話毎にランダムなキー認証（ディスプレイに表示される）
- 公衆回線、PABX 経由の回線へ（DTMF 制御）の接続が容易
- 1 秒間のラウンドトリップディレイをサポート
- 自動セキュリティー開始の設定が可能
- VPN 的機能が可能（50 の電話番号プログラム可能）
- 音声及び表示にてセキュリティ表示
- スナップフォンへの電源入力に問題があった場合は自動バイパス機能作動
- ソフトのアップグレード可
- インターフェース：　RS-232
- 電話送信者 ID(オプション)　但し音声暗号化ユニットのみ

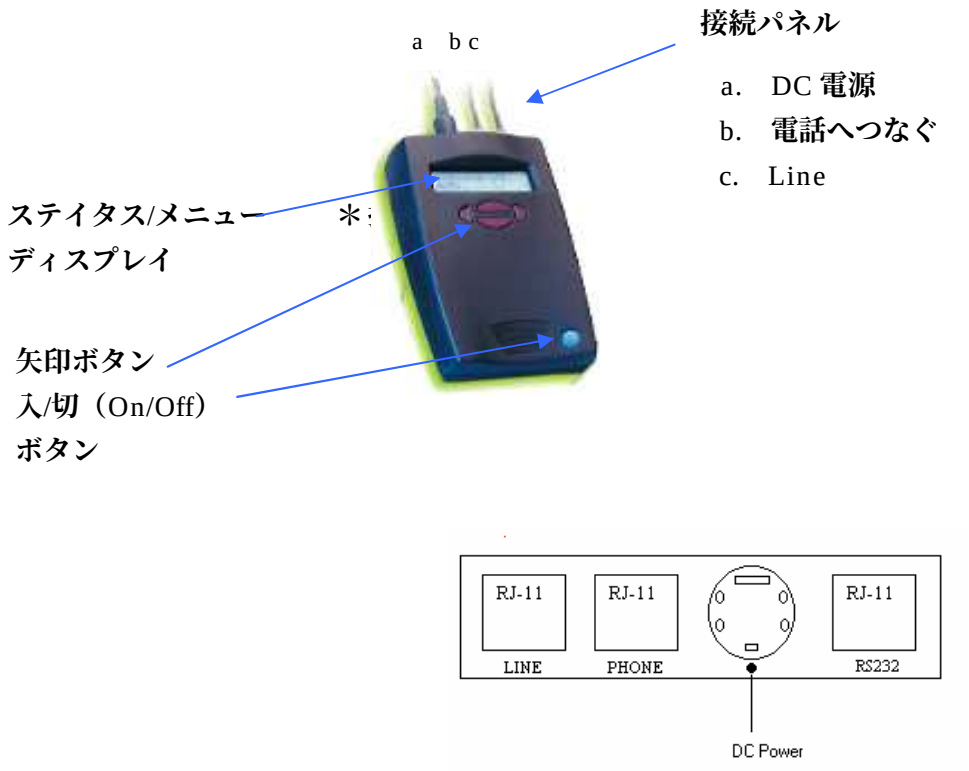
Chapter2：接続方法

SNAPfone のパッケージには下記の品目が含まれております。

・SNAPfone 本体ユニット
・AC 電源アダプター（100V）
・RI11 電話ケーブル
・取り扱い説明書

注：上記の品目が紛失又は損傷いる場合は連絡して下さい。

SNAPfone 全般見取り図



設置手順

注意！）SNAPfone を設置する回線には電話機は一台のみ接続してください。同じ回線に他の電話機やファックスが設置されている場合、SNAPfone は正常に動作しないことがあります。

1．電話ケーブルを電話やファックスから外します。
2．同梱されている電話ケーブルの片方を電話に、もう片方を SNAPfone の「Phone」と記載してあるコネクタに接続します。この時「Line」コネクタには何も接続しないで下さい。
3．同梱されているアダプタが SNAPfone ご使用の地域の電圧に適しているかどうかを確認してください。確認の後そのアダプタの DC ジャックを Snapfone に接続してください。その際、DC ジャックの矢印が記載されている部分が下になるように接続してください。そしてもう片方を AC コンセントに接続してください。
4．電話用のユニットの場合、ディスプレイに「SNAPSHIELD」と、ファックス用ユニットの場合ディスプレイに「SNAPSHILD FAX」と表示されます。
5．接続確認：受話器を取り適当な数字をダイヤルしてください。（ファックス用ユニットの場合はダイヤルした後にスタートボタンを押してください）まだ電話回線には接続していない状態なのでダイヤルトーンは聞こえませんが;ダイヤルした番号が SNAPfone のディスプレイに表示されます。
6．まだ接続していない電話ケーブルを「Line」と記載されているコネクタに接続してください。
7．受話器を上て通常のダイヤルトーンが聞こえれば設置完了です。

SNPAfone は細かい設定が可能です。Chapter 3 のクイックユーザガイド及び Chapter 5 の SNPAfone の設定、をご覧下さい。

安全なご使用と保証のために同梱されたアダプタ以外はお使いにならないで下さい。

Chapter3：クイックユーザガイド

SNAPfone の設定

SNAPfone はユーザによるいくつかのパラメータ変更が可能です。SNAPfone 操作のために以下のパラメータを設定・変更してください。

パラメータ	内容	ショートカット	設定	出荷時設定
PBX Prefix	SNAPfone を PBX 下の電話に接続する場合の外線発信番号		6	空

設定可能なその他のパラメータ

パラメータ	内容	ショートカット	設定	出荷時設定
Secure Notify	セキュリティ通話時のトーンの有無（音声通話用ユニットのみ）	3	1(On)	
Direct Mode(P2P)	SNAPfone のセキュリティ通話を開始する際の設定	4	0 or Other(P2P) 1(VPN) 2(AUTO)	

パラメータを変更する場合は受話器を取り、「####」とダイヤルしてください。
次のショートカットの数字を押しパラメータの設定を変更し、SNAPfone 本体の入切（On/Off）ボタンを押してから保存（左矢印ボタン）して下さい。

パラメータ内容を確認するには受話器を取り、「##**」とダイヤルし、ショートカットの数字を押してください。

注）もしファックス機に受話器が無い場合、設定の時のみ通常の電話機に接続して作業を行ってください。（設定完了後ファックス機に接続してください）

SNAPfone の設定に関してさらに詳細をお知りになりたい場合「Chapter4　SNAPfone の操作」をご覧下さい。

Point-to-point 暗号通話のかけ方

音声通話用ユニット

- 受話器を上げます。
- 相手先の電話番号をダイヤルします。この場合相手方の電話には SNAPfone ユニットが接続されている必要があります。
- 相手先が電話に出た後に入切（On/Off）ボタンを押下するか「***」とダイヤルして下さい。暗号通話が開始します。
- 通常の会話に戻したい場合には再度入切（On/Off）ボタンを押下するか「**#」をダイヤルして下さい。

ファックス用ユニット

- 暗号ファックス通信を行いたい文書をファックス機にセットします。
- 相手先の電話番号に続いて「*#2」（※1）と押下し、ファックススタートボタンを押下します。
  または
- 受話器を上げ、相手先電話番号をダイヤルします。
- 相手方が電話に出た（あるいは相手方ファックス機が応答した）後に入切（On/Off）ボタンを押下するか、「***」をダイヤルしてからファックススタートボタンを押下します。

SNAPZone 内における暗号通話のかけ方

- 音声通話の場合には受話器を上げ、暗号ファックス通信の場合には文書をセットします。
- VPN リストから相手先番号へダイヤルします。

暗号通話の受け方

- 受話器を上げ（あるいはスピーカーフォンボタンを押下し）ます。ファックスの場合は特に何もする必要はありません。

ボリューム

音声通話用ユニットにおいては暗号通話のボリュームの調整に本機に搭載されている左右の矢印ボタンを使います。LCD ディスプレイにそのボリュームレベルが表示されます。

※1 「*#2」は押下することで SNAPfone は暗号通話セッションを自動的に確立します。

Chapter4：SNAPfone 操作説明

基本機能

操作モード

Point-to-point モード

このモードを使えば SNAPfone に接続されている電話機との間で暗号通話を確立することができます。会話中どんなタイミングでも入切（On/Off）ボタンを押下することで暗号通話の確立・解除ができます。（この場合、Direct Numbers Security Mode を「P2P(0)」にセットしてください。）－「Chapter5:SNAPfone の設定」の Direct Numbers Security Mode（直接番号セキュリティモード）をご参照下さい。
また Point-to-point 暗号通話を自動的に確立するモードもあります。（この場合、Direct Numbers Security Mode（直接番号セキュリティモード）を「Automatic(2)」にセットしてください。）

SNAPzone(※1)モード

複数の SNAPfone を活用して SNAPzone と呼ばれる安全ゾーンを作ることができるモードです。システム管理者や SNAPfone 納入企業が SNAPzone を内に位置付けたい電話番号リストやプリフィックス（外線発信等の際に押下するダイヤル）を各 SNAPfone にプログラム化（ロード）します。（※2）（この場合、Direct Numbers Security Mode を「VPN(1)」にセットしてください。）－「Chapter5:SNAPfone の設定」の Direct Numbers Security Mode をご参照下さい。
あなたがその電話番号リストに登録されている番号に電話をかけると SNAPfone は自動的に暗号通話を確立します。（このリストに登録していない SNAPfone との間の通話を暗号化したい場合には手動により入切（On/Off）ボタンを押下します）

Point-to-point 暗号通話のかけ方

音声通話用ユニット

- 受話器を上げます。
- 相手先の電話番号をダイヤルします。この場合相手方の電話には SNAPfone ユニットが接続されている必要があります。
- 相手先が電話に出た後に入切（On/Off）ボタンを押下するか「***」とダイヤルして下さい。暗号通話が開始します。（※3）
  - i　暗号通話が確立した時には通話者両者には暗号通話が確立したことを知らせる特殊なトーン信号が聞こえます。また SNAPfone のディスプレイにはランダムな認証鍵が表示されます。以上の動作が完了した後から暗号通話が開始されます。
  - ii　もし暗号通話の確立が出来なかった場合でも通常の通話が切れることはありませんが、通話者両者には暗号通話が確立しなかったことを知らせ

る警告トーン信号が聞こえます。また SNAPfone のディスプレイには「Not secured（暗号通信ではない）」という文字が表示されます。

ファツクス用ユニット

- 暗号ファックス通信を行いたい文書をファックス機にセットします。
- 相手先の電話番号に続いて「*#2」と押下し、ファックススタートボタンを押下します。SNAPfone は自動的に暗号通話を確立します。暗号通話が確立された時には SNAPfone の LCD には確立されたセキュリティレベルが表示されます。（3DES）

  または
- 受話器を上げ、相手先電話番号をダイヤルします。
- 相手方が電話に出た（あるいは相手方ファックス機が応答した）後に「***」をダイヤルしてからファックススタートボタンを押下すれば SNAPfone は暗号通話を確立します。
  - i 暗号通話が確立した時には SNAPfone のディスプレイには確立したセキュリティレベルが表示されます。
  - ii もし暗号通話の確立が出来なかった場合には通話は終了します。

Point-to-point 暗号音声通話の終了の仕方

暗号通話中に入切（On/Off）ボタンを押下するか、「**#」をダイヤルすれば通話中のいつでも通話自体を終了させることなく暗号通話だけを終了させることができます。もちろん暗号通話を再開させることも可能です。

SNAPzone 内での通話

- 音声通話の場合は受話器を上げます。ファックス通信の場合はファックス機に文書をセットします。
- VPN リストから相手先の番号をダイヤルします。暗号通話が確立した時には音声通話ユニットの場合、上述したトーン信号が発せられ、SNAPfone の LCD には暗号鍵が表示されます。ファックス用ユニットの場合には SNAPfone の LCD にセキュリティレベルが表示されます。

暗号通話の受け方

- 受話器を上げ（あるいはスピーカーフォンボタンを押下し）ます。ファックスの場合は特に何もする必要はありません。

発信者番号暗号通話の受け方（国により事情は異なる）

- SNAPfone はディスプレイに発信者番号を表示します。
- 受話器を上げて 5 秒後にその表示は消えます。

ボリューム

音声通話用ユニットにおいては暗号通話のボリュームの調整に本機に搭載されている左右の矢印ボタンを使います。LCD ディスプレイにそのボリュームレベルが表示されます。

SNAPfone の表示

SNPAfone は暗号通信（発信、受信の両方）時に信号音とディスプレイ表示の両方で暗号通信が確立されたことを知らせます。

音

注意：音は暗号通話用ユニットのみ有効です。

- ユーザにより SNAPfone の「Secure Notify」機能が On にされた場合、暗号通話中定期的にトーン信号が発せられます。
- 通常の電話をかけた場合、暗号通話ではなことを知らせる警告信号音が発せられます。しかしながら SNAPfone が通常通話のモードだったりモードがスイッチするポイントが無い場合にはこの警告信号音は発せられません。

視覚（LCD）

LCD 表示	意味
Start Security Modem Synched	通話プロセス表示
Not Secured	現時点での通話は暗号化されていない
Secured[XXXX]	現時点での通話は暗号化されており、ディスプレイには一回毎の通話でランダムに変化する特別な認証番号が表示される（音声通話用ユニットのみ）

SNAPfone の設定

SNAPfone はユーザによるいくつかのパラメータ変更が可能です。SNAPfone 操作のために以下のパラメータを設定・変更してください。

※1 SNAPzone とは特定の SNAPfone 付き電話複数台を活用して作る通話安全ゾーンを言います。この安全ゾーン内にある電話とは特に意識することなく暗号通話が行われます。また PBX に接続している電話の場合にはプリフィックス等の設定も可能です。
※2 ZONE management ソフトを使用します。
※3 暗号通話の確立最中に数秒会話かができない時間が発生します。その時には通話者両方に暗号通話確立を知らせる特殊なトーン信号が聞こえます。

Chapter5：SNAPfone の設定

注　SNAPfone の間違ったプログランミングは予期せぬ事態や不適切な作動を引き起こす可能性があります。設定を行う際は充分ご注意下さい。

パラメータの設定

ユーザーは下記のパラメータの設定を行うことができます。

安全通知トーン

毎 30 秒安全通知トーンが聞こえるようにするか、ユーザが設定することができます。
LCD ディスプレイ：安全通知
表示数値： 1 作動；　他　非作動
Default:無表示、empty
ショートカット番号： 3

直接番号セキュリティモード：

スナップフォンが電話処理する非作動モードを設定して下さい。
SNAPzone 機能の場合は、コノパラメータは VPN（１）に、ポイント・ツー・ポイントの場合は P2P（０）に設定して下さい。
LCD 表示： Direct　Mode
表示数値：
０－　P2P　（手動ポイント・ツー・ポイント）
１－　VPN　（SNAPzone の直接番号リストにて自動）
２－　自動　（常に暗号化作動）
Default：０　（ポイント・ツー・ポイント）
ショートカット番号：４

PBX Prefix（前置番号）

SNAPfone がアナログ PABX 回線上に設置されている場合、パラメータは普段外線にかける際の番号でなければなりません。最高 3 桁まで設定できます。
LCD 表示： PBX Prefix
Default：無表示、empty
ショートカット番号：６

グループ

暗号化回路が設定されますと、SNAPfone は使用者のグループ有効性も確認します。グループは使用者が設定するキー番号により、より確かな認証機能となります。

LCD ディスプレイ：グループ (Group)
Default：無表示、empty
ショットカット番号：　　なし

パラメータの確認と変更

注：パラメータを設定する際は充分ご注意下さい。

- **受話器を持ち上げて下さい。（受話器のないファックス機の場合は普通の電話と SNAPfone を接続して、設定を行って下さい）**
- **利用したいモードを選んで下さい（確認又は変更）**

a.**変更するには：電話機にて####を押して下さい。**
b.**確認するには：電話機にて##**を押して下さい。**

- **変更又は確認したいパラメータを選んで下さい。**

a.**変更又は確認したいパラメータが出てくるまで左と右の矢印ボタンを使いスクロールして下さい。又は**
b. **変更又は確認したいパラメータのショートカット番号を押して下さい**

***ディスプレイ*：各々のパラメータの名称、数値長い値のパラメータの場合、最後と最初の数字を識別するため自動的に黒い四角が間に入ります。**

- **変更モードの時**

a. **子機を使い、選んだパラメータに新しい値を入れて下さい。2 行目に表示されます。**
b. **登録済の値を消去する場合－新しい値を入力せずに続けて下さい。**
c. **変更を登録するには**

1. **入/切ボタンを押して下さい。**
   ディスプレイ：On 第一行目：Exit(解除)
   On 第二行：Save（左側）No　Save（右側）
2. **左側の矢印ボタンを押して下さい。**
   パラメータは新しい値に変更されました。

- **他のパラメータを変更又は確認したい場合は 3-4 の過程を繰り返して下さい。**
- **受話器を置いて下さい。**

Chapter6：トラブルシューティング

故障状況	原因	処置	フォロー
LCD に表示がない	電源が入っていない	装置の接続を確かめて下さい。プラグはきちんと挿入されているか、ケーブルに損傷がないか。必要であればアダプターを取り替えて下さい。	SNAPfone は LCD なしでも機能します。販売元に連絡して下さい。
ダイヤルトーンがない	ラインと電話接続が入れ替わっている	正しい接続にやり直す	
ダイヤルトーンがない	接続がゆるんでいる	接続を確かめ、必要であれば締める	
ダイヤルトーンがない	ネットワークの問題、入/切スイッチの問題	電源から SNAPfone を抜く。それでもダイヤルトーンがない場合は SNAPfone の問題ではありません	
電話はできるが暗号通話でない	Default モードが正しく使われていない。又は入/切ボタン	取扱説明書を参照	
SNAPfone が暗号通話モードに変わらなく電話がきでない	SNAPgate のサービスが行われていない。		販売元に連絡して下さい。
SNAPfone が暗号通話モードに変わらない	SNAPfone がスマート/デジタル PABX 回線に接続されている	SNAPfone はアナログライン以外では機能しません。	
LCD がエラーの表示になる	SNAPfone の故障	LCDの説明にそってください	
発信者 ID 失敗	発信者 ID が表示されない	発信者 ID があるかどうか確認をとって下さい。	
発信者 ID 失敗	コーラーID が表示されない	発信者 ID がサポートされているか発売元に確認	
発信者 ID 失敗	最初の呼び出し音が終わらない前に受話器をとった。	最初の呼び出し音の終了後に受話器を持ち上げてください。	
発信者 ID 失敗	発信者 ID が阻止されている	SNAPfone が発信者 ID 検知の設定がされているか確認	
暗号通話時に回線が切れる	回線状況の悪化 盗聴をされている 可能性あり		

上記内容によって問題が解決しないようであれば販売元に連絡をとり必要でしたら SNAPfone を交換して下さい。

注：ほとんどの場合 SNAPfone の電源を切ることによって盗聴防止が動作しない通常の回線状態にもどります。

Chapter7：製品認定など

CTR21 型式承認

AnnexⅡ－型式承認

この装置は「98/482/EC　PSTN 公共ネットワーク」における承認は取得しています。ただし国々によっての個人 PSTN の違うためこの承認取得は全ての PSTN ネットワークターミネーション地点で正常に作動することを無条件で保証するものではありません。
問題が発生した場合は、装置の販売元の連絡して下さい。

AnnexⅢ　ネットワーク適合性申告（宣言）

我々、SNAPshield は個の責任により SNAPfone が下記のネットワークにおいて inter-work するよう設計されていることを宣言致します。

オーストリア、ベウギー、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、アイスランド、アイルランド、イタリア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス、英国

下記の国のネットワークでは inter-working で問題が発生する可能性があります。
ドイツ、リギシャ、ポルトガル、スペイン

ネットワークの適合性は物質的、又はソフトウェアのスイッチ調節には関係ありません。

この装置を他のネットワークで使用する場合には販売元に連絡をとって下さい。

FCC パート 15 情報

下記の事項は FCC (Federal Communication Commission) **の規定に基づいて記述されております。**SNAPfone **をインストール、使用する前に、よくお読みください。**

SNAPfone **は下記の条件に基づき操作してください。**

この機器は FCC **の規則、パート** 15 **に基き検査されデジタル装置、**ClassB **の規格に対応されております。規格値は住宅内の装置の設置に有害な妨害を保護するように設計されております。説明書通りに適切な取り付け、操作、使用しないと高周波通信等に支障をきたす可能性があります。**
ラジオやテレビ電波受信に有害な干渉が起こった場合は、それは機器の電源を入／切する事で確認できますが、次のような操作を試みて下さい。

A) **受信アンテナを再度正しい位置合わせるか、又は移動する**
B) **機器と受信機の距離を離す。**
C) **受信機と機器の回線を別のコンセントに接続する。**
D) **販売業者に相談して下さい。**

警告：製造者以外の製品の改造や変更に対しての商品の保障は行いかねます。

CE **情報**
SNAPshield **は下記の規格に準拠しております。**

EMC*

輻射：	EN55022(1994) Class B	**情報機器等への妨害に関して高周波妨害**
耐性：	IEC801-2(1984)	Electrostatic Discharger Immunity (ESD)
	IEC801-3(1984)	Radiated Radio Frequency Electromagnetic Field Immunity **高周波電磁場放射への耐性**
	IEC801-4(1988)	Electrical Fast Transients （EFT）
安全基準：	EN60950(1992/93)	**ビジネス機器を含めた情報機器の安全性**

EMC Directive 89/336/EEC **及び低電圧指令** 73/23/EEC **に基きます。**

Chapter8：仕様書

暗号化：

キー暗号：Diffie-Hellman 1024 **ビット**

暗号セッション：3DES　**プライベートキー**

音声圧縮：

G729A

ファックス・サポート：

グループ 3、T-30

電話器コネックター：

標準　RJ-11

RS232　コネクター：

標準　RJ-11

電源：

100V.　50-60Hz

消費電圧：

35W

重量：

400ｇ **(本体)**

寸法：

150mm X 45mm X 90mm

温度：

動作温度：0～＋60℃

保管：-20～＋70℃

輸入元

有限会社　ジェイド

http://www.jade-ltd.jp

〒140-0004 東京都品川区南品川2丁目4-5
NAビル　ピンチェンジ内

Tel: 03-5796-9895　Fax: 03-5796-9848

販売元